

会 議 録

会議名 (審議会等名)		第8期第4回相模原市中央区区民会議（グループA）		
事務局 (担当課)		中央区役所区政策課 電話042-769-9802（直通）		
開催日時		令和7年8月26日（火） 10時00分～11時15分		
開催場所		相模原市民会館 2階 講習室		
出席者	委 員	7人（別紙のとおり）		
	その他	0人		
	事務局	2人（区政策課職員）		
公開の可否		☒ 可 ☐ 不可 ☐ 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
会議次第		開 会 1 議題 （1）中央区基本計画の取組状況の検証について ○グループA ・取組目標Ⅰ：健やかに育ち、共に学び、共に高め合っている ⇒【子育て・教育】【生涯学習・社会教育】 ・取組目標Ⅱ：自分らしく、いきいきと暮らしている ⇒【福祉、高齢者、貧困】、【人権・男女、障害者、国際化】、【健康、医療】 閉 会		

主な内容は次のとおり。

開 会

事務局から、運営に係る事務説明を行った。

—傍聴希望者 なし—

1 議題

中央区基本計画の取組状況の検証について

事務局よりグループワーク参考資料を配布、説明し、グループワークを行った。

主な意見等は以下のとおり。

■取組の方向Ⅰ－１ ①子育て支援

（高橋委員）

横山地区では総会の際に、園児や未就学児に対する取組が積極的でないと相談があった。それを踏まえ、今年の秋に幼保連携型認定こども園等の施設に声掛けを行い、子ども祭りを企画している【新規事業】。対象は、未就学児と小学校低学年。横山公民館を全館貸し切りし、マグネットを使った魚釣りや輪投げなどを10種類程度の出し物を予定している。子どもと一緒に保護者も来るので、そこで地域住民と保護者の繋がりを作れたらよいと考えている。

（割柏委員）

光が丘地区も今年の夏から未就学児や小学生を対象に色々な取組を行っている。7月にはフラダンスの企画を行った。企画を幼稚園や小学校にチラシを直接配布し説明しているが、企画にかかる少額の費用がかかることで、小学校での配布を断られることもあった。校長先生の考え次第で企画を受け入れてくれるかどうかが決まってくるように感じるが、子どもたちのために開催していることもあるため、受益者負担も理解してほしい。

（中牟田委員）

婦人会でも様々な取組を行っている。しかし、育成会の子どもの加入率も年々減っており、ラジオ体操や料理教室を企画しても参加する子どもの数が少なくなっている。基本、平日開催なので共働家庭は参加しづらいのかもしれない。

（藤田委員）

P T Aはコロナ禍で一度は活動が止まってしまったこともあるが、最近は各地区によってお祭りを開催したりする地区もある。また情報提供という形にはなるが、文部科学省で地域を巻き込んで学校の活動や運営を地域とともに行うコミュニティスクールの構築を進めている。最近では、P T A等でコミュニティスクールの勉強会も開き、制度の周知もしている。

（清水委員）

子育て支援として、園庭開放や子育てサロンを各園で行っている。また毎年11月に、各保育園や認定こども園が催しを開催する「さがみはらんど」を実施している。主に保育園や幼稚園に入っていない子どもを対象に、保育園体験や子育て相談、園外保育に子どもが体験同行するなど園に入れないと思えるようなきっかけ作りを目的としている。他にも上溝では社会福祉協議会が「ふくしまつり」を実施し、そこでは上溝高校や上溝南高校の福祉を学ぶ学生がボランティアとして参加してくれている。

（割柏委員）

東京・神奈川を比較しても子育てに係る制度が全然異なると思う。また大学等の奨学金を支払っている世代には子どもを産み、育てることが経済的に厳しいという話をよく聞いている。本腰を入れて環境作りをするためには経済的にも支援していくことが必要なのではないか。子どもに関わる制度についても、自分から情報を取りに行かないと知らないことも多い。

(事務局)

各地域や団体で、交流を行いながら子育てできる環境を作るための様々な取組が実施されており、DXの観点からは情報を必要としている人に効果的に発信していくことが求められる。

■取組の方向Ⅰ－１ ②子どもの健全な育成環境の充実

(高橋委員)

横山地区では昨年から小学校に横山ルームが設置された。今学校には登校できるが、クラスに馴染めない子どもを対象に勉強を教える取組である。運営主体は学校で、地域の民生委員や地区の社会福祉協議会がボランティアとして参加している。勉強だけでなく、一緒に遊ぶ中でコミュニケーションが取れている。また、清新中学校でも同様の取組を行っている。横山地区と清新地区の民生委員が輪番制でボランティアとして入り、勉強や見守りを行っている。

(八木委員)

星が丘地区では、小学校1年生を対象に地区の社会福祉協議会や老人会の主導で、授業の一環で、羽根つき・こま回しなどの昔の遊び体験を実施している。また子どもの居場所作りとして、月に2回、民生委員が主体となって、公民館を借りて工作や宿題をやる企画を開催している。他には、社会福祉協議会が学校に呼びかけを行い、ふるさとまつりにも子どもに来てもらえる取組(缶バッチ作りや輪投げ等)を行っている。

(浅野委員)

自身は大野北地区でふちのべ星援隊に所属し、ボランティア活動をしており、淵野辺駅でマルシェを開催している。回を重ねるごとにマルシェの内容も幅広いものになっている。その活動の中で、地域の高齢者の自宅に使わなくなったものがたくさんあって困っているとの相談を受けた。今後桜美林大学や麻布大学の学生ボランティアと協力し、マルシェのフリーマーケットで販売したり、子ども服にリメイクするワークショップを予定している。

(割柏委員)

青山学院大学サッカー部は、地域のお祭りにボランティアとして参加してくれる。積極的に活動に参加してくれるので、お弁当くらい市に支援してもらえないかと個人的に考えている。地域と地域の学生とのつながりが絶えることがないように、さらに今後も関係を継続させていきたいとの思いからも、積極的に地域活動に参加してくれる人たちに支援も行っていく必要がある。

健全な育成という取組では、子どもたち向けに野球教室やサッカー教室を開催しているが、集まりは芳しくないがチラシを配ったり、工夫しながら人が定着するように取り組んでいる。

(清水委員)

上溝地区の話になってしまうが、月に一度土曜日に子どもを対象とした駄菓子屋を開いている。地区の社会福祉協議会に入っている「グルメの会」(構成員はほとんど男性)が主体となり、揚げたてのコロッケやフライドポテトをふらっと上溝という社会福祉協議会の活動場で子どものお小遣いでも買える値段で売っている。駄菓子屋に来る子どもたちも運営側が自身の祖父世代であるため、親しみやすくコミュニケーションも取りやすい状況になっている。

(事務局) 子どもの居場所、遊び場づくり及び子どもが健やかに伸び伸びと育つことができる環境づくりについては、各地区で課題意識が持たれ、様々な取組が実施されている。一方で健全育成、言葉を換えると非行対策という観点では、大きな課題意識がないように感じた。

■取組の方向Ⅰ－１ ③教育環境の充実

(高橋委員)

横山地区で小学校低学年対象に子ども遊びでこま回しを行った際には、子どもが投げ方を知らず、こまに撒いた紐ごと投げてしまっていた。地域での教育として、学校では教えてくれない分野を教えてあげるのが大切ではないか。

(八木委員)

母の会が子どもたちに自転車の乗り方を教えている。健全育成協議会の中では、料理や工作を教えたり、ランタン作りやサツマイモ堀りなどの6～7種類の企画も実施している。しかし、人集めが課題。近年ではSNSが情報発信の主流となっており、チラシ等の情報発信がどれほど効果的かがわからない。

(割柏委員)

光が丘地区でインスタグラムをやっているが、あくまでも情報を掴みたい側が調べに来ないと情報を知りたい人に発信ができない。そのため、結局はチラシによる周知が一番効果的だと感じる。チラシにQRコードをつけることで、興味がある人に情報を伝えられる。

■取組の方向 I - 2 ①生涯学習、社会教育の支援

(高橋委員)

横山地区は成人学級・九十九学級という高齢者が参加できる活動があり、一週間の活動の中で防災や交通安全等のテーマを決めて話し合いを行っている。日帰りでの視察研修も実施している。主体は公民館で学びのほかに高齢者が集まってふれあいや交流、生き活きと社会生活できる環境を整備している。

(清水委員)

保育園の活動として、園外保育の一環で園児を数人連れて公民館の図書館に行き、図書館では本を静かに読むことを教えたり、実際に紙芝居を借りて保育園で園児に読み聞かせをしたりしている。こういった経験も子どもたちの学び(社会性の学び)につながるのではないかと思う。

(割柏委員)

今年の2月のまちづくり懇談会では、中学生を参加者に加えて開催した。中学生は大人とは異なる視点から意見を言ってくれるのでとても参考になる。来年度に中学生が投げかけた問題について改めてまちづくり懇談会を開催し、話し合っていきたいと考えている。課題としては、子育て世代を取り込めていないため、子育て世代を取り込み、意見も聞いてみたい。

(中牟田委員)

婦人会で未就学児の親子を対象とした読み聞かせなどを毎年継続して行っている。平日開催の影響からか参加者は少ない状況。現代は共働き世代が多いことから、開催を土日にすることで参加者増加を考えている。

(藤田委員)

P T Aは子育て世代で構成されているが、支援教育として各地域のブロックで防災の後援会を開催したり、地域ごとの問題意識を反映させた形で企画や勉強会を開催したりしている。

(事務局) 生涯学習では、公民館が主体となり、主に高齢者向けに様々な活動が行われている一方で、P T A等が事業を実施しているものの、子育て世代への学ぶ機会提供が少ない。

閉 会

以 上

第8期第4回相模原市中央区区民会議（グループA） 委員出欠席名簿

No.	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	中 牟 田 好 江	特定非営利活動法人男女共同参画さがみはら		出席
2	藤 田 寛 之	相模原市P T A連絡協議会		出席
3	清 水 洋 子	相模原市私立保育園・認定こども園園長会		出席
4	高 橋 年 廣	相模原市地区社会福祉協議会中央区連絡会		出席
5	原 田 克 也	一般社団法人相模原市医師会		欠席
6	浅 野 由 佳	公募委員		出席
7	八 木 鉄 雄	星が丘地区まちづくり会議		出席
8	吉 田 貴 亮	横山地区まちづくり会議		欠席
9	割 柏 秀 規	光が丘地区まちづくり会議		出席